

夏のニューヨーク市をお得に楽しむ方法

ニューヨーク市観光会議局から、この夏にニューヨーク市をお得に楽しむためのアクティビティをご紹介します

ニューヨーク市における 5 つの行政区の公式ツーリズム・マーケティング機関である、**ニューヨーク市観光会議局**（正式英語名称: **New York City Tourism + Conventions**）が、この夏、国内外の旅行者が無料やお手頃な価格で楽しめるおすすめスポットをご紹介します。

ニューヨーク市観光会議局 プレジデント&CEO のフレッド・ディクソンは、「ニューヨーク市は、旅行の目的や旅行期間、予算に関係なく、すべての人々にかかわらず”何か”を提供する都市で、世界中のどの都市よりも見どころが多いと自負しています。夏のニューヨーク市はストリート・フェスティバルや、屋外でのダイニング&カルチャー体験のほか、美しい公園やビーチなど、とても賑わいをみせます。私たちは、夏のニューヨーク旅を余すところなく堪能していただきたく、5 つの行政区すべてにおいて、無料やお手頃な価格で楽しめる、おすすめのアクティビティやスポットをご紹介します」と述べています。

ニューヨーク市の夏を満喫するおすすめのアクティビティは以下のとおりです：

<毎年恒例の無料イベント>

- 独立記念日である7月4日に開催する「**Macy's 独立記念日の花火**」は、今年もイーストリバーで打ち上げ予定です。マンハッタンでは、1st Avenue/East 42nd Street、1st Avenue/East 34th Street、1st Avenue/East 20th Street の交差点にて、ブルックリンでは、ニュータウン・バーグ・パーク、トランスミッター・パーク、マーシャ・P・ジョンソン州立公園にて、クイーンズでは、ガントリプラザ州立公園などが、この無料公開イベントの公式観覧場所となります。
- 「**SummerStreets**」では、この夏の特定の土曜日に歩行者天国を実施し、歩いたり、自転車に乗ったりして楽しめるよう、数キロメートルに及ぶ道路を開放します。クイーンズとスタテンアイランドでは、7月29日に、マンハッタンでは8月5日、12日、19日に、ブルックリンとブロンクスでは8月26日に開催を予定しています。
- 8月10日～20日まで、「**第48回ハーレム・ウィーク**」が開催され、ライブミュージックやダンスパフォーマンス、レストラン、ショッピングなど、この地域の豊かな文化的価値に焦点を当てたイベントが行われます。
- 8月31日から開催の「**西インド諸島アメリカン・デー・カーニバル**」へは、地下鉄（片道わずか2.75ドル）でブルックリンまで行ってみてください。9月4日のパレードでは最高潮を迎えます。
- ニューヨーク市は、現代のLGBTQ+の権利運動の発祥地であり、世界最大級のプライド・パレード「**NYC プライド・マーチ**」の開催地であることを誇りに思っています。今年のマーチは6月25日にすでに開催されましたが、毎年恒例のイベントですので、ぜひ来年もお楽しみに。

<ヒップホップ誕生 50 周年記念イベント>

- ヒップホップは50年前の1973年8月11日にニューヨーク市で誕生しました。8月4日にはブロンクスのクロナ公園で「**”Birth of a Culture”, Grandmaster Flash and Friends**」などの無料コンサート、8月11～12日には「**BRIC Hip-Hop 50th Anniversary Weekend**」が開催されるなど、50周年記念イベントが目白押しです。

CONTACT:

ニューヨーク市観光会議局

日本オフィス

c/o 株式会社オーダス

アカウントディレクター 伊藤 宏和

ito@audacejapan.com

Tel. (03)5615-8177

リリースに関するお問い合わせ:

nyctourism_pr@audacejapan.com

NEW YORK CITY

TOURISM + CONVENTIONS

@NYCTOURISMNEWS

NYCTOURISM.COM

- ヒップホップをモチーフにしたモット・ヘイブンのレストラン「[Beatstro](#)」では、アメリカ南部料理のカジュアルさとブルックリン料理を融合させたメニューを提供しています。午後 4 時～8 時までのハッピーアワーや、週末の Beats n' Brunch をお楽しみください。
- そのほかにも、6 月 30 日開催の「ヒップホップ・ワークショップ」や 8 月 10 日開催の「ヒップホップ 50 周年記念セレブレーション」などで、エキスパートのダンスインストラクターによる無料のダンスレッスン「[Dance in Times Square Ailey Extension](#)」も開催予定です。

<NYC レストランウィーク、今年も開催！>

- 年 2 回開催される「NYC レストランウィーク®」が今年も夏に帰ってきます！この夏、7 月 24 日～8 月 20 日まで、5 つの行政区にある数百軒のレストランにて、プリフィックスのランチ & ディナーメニューを提供します。参加レストランについては 7 月 6 日に nyctourism.com/restaurantweek で公開予定です。

<アイランド&ビーチホッピングに出かけよう>

- 海に囲まれたニューヨーク市は、島々からなる街です。5 つの区はすべて [NYC フェリー](#) で結ばれており、片道 4 ドルで利用できます。
- ブルックリンのビーチに面した[コニーアイランド](#)は、「サイクロン」や「サンダーボルト」などのジェットコースター、観覧車のほか、遊園地やゲームセンター、Nathan's の有名なホットドッグがあるボードウォークなど、ニューヨーク市の夏を代表する人気スポットです。
- ブロンクスの[オーチャードビーチ](#)は、かつて「ニューヨークのリビエラ」と呼ばれ、ロングアイランド湾に面しており、同区の漁村であるシティアイランドを眺めることができます。
- マンハッタン新しい公園「[リトルアイランド](#)」では、ウォーターフロントの景色や体験型アート、パフォーマンス、イベントなどを無料で楽しむことができます。
- もうひとつのニューヨーク市の夏の楽しみは、「[ガバナーズアイランド](#)」です。この島には車がなく、ウォーキングやサイクリングのコース、ハンモックがかかった木々、屋台などがあります。ガバナーズ・アイランド・アーツの無料イベントやワークショップは、5 月から 10 月まで、毎月第 3 土曜日に開催されています。
- クイーンズの[ロッカウェイ](#)には、ニューヨーク市で唯一のサーフ・ビーチがあります。砂浜と波打ち際を楽しみ、[タコウェイ・ビーチ](#)でランチを取るのもおすすめです。
- ロウアー・マンハッタンから無料のスタテンアイランド・フェリーに乗り、自由の女神を眺めてから、[サウス・ビーチ](#)と[ミッドランド・ビーチ](#)を訪れてみませんか。これらのウォーターフロント地区には、ビーチだけでなく、約 4 キロメートル続くボードウォークや釣りを楽しめる栈橋もあります。

CONTACT:

ニューヨーク市観光会議局

日本オフィス

c/o 株式会社オーダス

アカウントディレクター 伊藤 宏和

ito@audacejapan.com

Tel. (03)5615-8177

リリースに関するお問い合わせ:

nyctourism_pr@audacejapan.com

NEW YORK CITY

TOURISM + CONVENTIONS

@NYCTOURISMNEWS

NYCTOURISM.COM

<アウトドア・エンターテインメント>

- 屋外でのパフォーマンスは、ニューヨーク市の夏の定番です。セントラルパークの人気イベント「[シェイクスピア・イン・ザ・パーク](#)」では、8 月 6 日までデラコルテ・シアターで「ハムレット」の公演を無料公開します。
- 「[Capital One City Parks Foundation SummerStage](#)」では、5 つの行政区の公園で、無料のコンサートを開催し、さまざまなジャンルの音楽が演奏されます。
- 今年 45 年目を迎える、ブルックリンの夏恒例の野外フェス「[BRIC セレブレート・ブルックリン!](#)」は、プロスペクト・パークのレナ・ホーン・バンドシェルで開催します。今年のラインアップは、Anderson .Paak と Knxwledge による NxWorries (6 月 24 日)、Kelela (7 月 8 日)、Marcia Griffiths (7 月 15 日)、The Wallflowers (7 月 27 日)、Jorge Drexler (8 月 3 日)、The Head and the Heart (8 月 24 日) など、無料ライブが予定されています。

- 屋外シアターで無料の映画上映を楽しみましょう。「[Film at Lincoln Center](#)」は 9 月 1 日まで開催。7 月 10 日から開催するコニーアイランドの「[Flicks on the Beach](#)」ではファミリー向けの作品などをラインアップ。7 月 6 日～8 月 24 日までの毎週木曜日は、ブルックリンブリッジ・パークで「[Movies With A View](#)」を開催します。

<パブリックアートを楽しもう>

- ニューヨーク市は世界有数の文化都市であり、世界を代表する美術館やギャラリー、そして街中にある素晴らしいパブリックアートプログラムがあります。
- [Public Art Fund](#) は、無料で現代アートの展覧会を開催しており、現在、ニューヨーク市内の公園や JCDecaux によるバス停広告、ラガーディア空港、ニューアーク・リバティ空港、モイニハン・トレイン・ホールなどの交通機関で作品を見ることができます。
- 「[Midnight Moment](#)」は、毎晩 23 時 57 分から 0 時まで、41st Street から 49th Street にある、タイムズ・スクエアのデジタル・ビルボードに 92 枚のパブリックアートを展示します。今夏のプログラムでは、Zach Blas (6 月 30 日まで展示中)、Victoria Fard (7 月 1 日～30 日)、Scott Eaton (8 月 1 日～31 日) のアーティストが登場します。
- 「[Seaport Arts](#)」は、ロウアー・マンハッタンシーポート全域で展覧会を開催しています。この夏は、Janette Beckman による「[Hip Hop at 50](#)」(10 月 31 日まで開催)、SuperRare による「[Fragments of the Dreams : シュルレアリスムのビジョン](#)」(6 月 22 日～7 月 29 日まで開催) などをご覧ください。

昨年 (2022 年) におけるニューヨーク市の経済は引き続き回復基調にあり、対前年 (2021 年) 比 72.5%増、5,600 万人以上の旅行者がニューヨーク市を訪問しました。これは、同市が記録した 2019 年の訪問者数のおよそ 85%相当にまで戻ったことを意味します。ニューヨーク市の 2023 年の来訪者数については、6,330 万人に達する見込みです。

ニューヨーク市の観光情報は公式サイトをご覧ください: nyc tourism.com

ニューヨーク市観光会議局 (New York City Tourism + Conventions) :

ニューヨーク市の 5 つの行政区 (マンハッタン、ブルックリン、ブロンクス、クイーンズ、スタテンアイランド) 全域の観光推進および経済発展、そしてイメージ向上を目的とした、ニューヨーク市の公式ツーリズム・マーケティング機関です。ニューヨーク市観光会議局に関する情報は公式 HP nyc tourism.com をご覧ください。

CONTACT:

ニューヨーク市観光会議局

日本オフィス

c/o 株式会社オダス

アカウントディレクター 伊藤 宏和

ito@audacejapan.com

Tel. (03)5615-8177

リリースに関するお問い合わせ:

nyc tourism_pr@audacejapan.com

関連画像データ: [こちら](#) からダウンロード

これらのメディア資産をダウンロードすることにより、利用者は以下の条件に同意したものとみなされます:

ニューヨーク市観光会議局 (New York City Tourism + Conventions) は、プレス用途に限り、その使用を許しています。提供するメディア資産のすべてまたは一部を報道目的以外に使用すること (メディア資産の複製、配布、販売を含む、これに限定されない) は禁止されています。また、ニューヨーク市観光会議局の許可なく、メディア資産を商業目的で使用したり、いかなる形でもリブランディングすることはできませんのでご注意ください。

NEW YORK CITY
TOURISM + CONVENTIONS

@NYCTOURISMNEWS
NYCTOURISM.COM